

平成29年度

熊本市予算編成に関する

政策要望書

公明党熊本市議団

平成28年12月27日

熊本市長
大西一史 殿

公明党熊本市議団

代表兼会長 鈴木 弘

平成29年度 熊本市予算編成に関する政策要望

はじめに

平成29年度熊本市予算編成に関する公明党熊本市議団としての政策要望を取りまとめましたので、予算編成にあたっては、その趣旨をよく理解頂き、予算編成に反映されるよう強く求めます。

さて、一昨年に大西一史市長が誕生し、以来、市長自らのマニフェストの実現や、人口減少社会を見据えた「第7次熊本市総合計画」及び熊本市人口ビジョン、さらには「熊本市しごと・まち・ひと創生総合戦略」の策定を終え、本格的な新熊本市の構築に向けて動き出そうとした矢先に、熊本市としては、これまで経験したことのない熊本大地震が発生しました。

以来、熊本市民への救援、市民生活の再建、住家の再建、本市経済の再生等々を目指し、議会と行政が一丸となって対策を講じてきました。

公明党熊本市議団は、この間、市民現場に最も近い立場との自覚に立って、被災者の声を聞き届けるため現場に赴き、行政と情報を共有しながら、対策の推進や、政党のネットワークを活かした国や県に対する要望活動などを行ってきました。

また熊本大地震発生から一カ月を過ぎた5月には、熊本市に対して、それまでの現場調査で浮かび上がってきた当面の課題を整理し、

70項目の要望活動を行いました。この要望に関しては多くの課題について真摯に対応されたことに感謝しています。

こうした経緯を踏まえ、今回の平成29年度熊本市予算編成に関する公明党熊本市議団としての政策要望は、熊本大地震への震災対応編と、これまでの公明党熊本市議団のローカルマニフェスト「熊本市フューチャービジョン」及び「人が活きる くまもと創生」重点政策に基づく政策要望編の2部構成で編成しました。

私たち公明党熊本市議団は、熊本大地震からの復旧・復興を第一優先としながらも、将来の人口減少社会を見据えた対策も、どんなに厳しくとも優先順位を見極めながら進めていくことが、将来世代への責任を果たすことになると確信しています。

最後に、職員による不祥事が続いています。熊本大地震からの復旧・復興、そして熊本市の将来を展望するとき、職員は重要な役割を果たす大切な人材です。

一人ひとりが、心の闇に侵されないためのメンタルサポートの充実を改めて求めておきます。

熊本市予算編成に関する政策要望に対する行政対応についての要望

- ① 要望（震災対応編及び政策要望編）について、現状と予算編成での対応結果、今後の対応について、書面をもって報告すること。
- ② 政策要望が実施となる場合には、その実施内容について会派に報告を行うこと。

以上。

震災対応編

公明党熊本市議団

震災対応編

要望大項目	項番	要望項目
国への要望	1	各種支援策の更なる拡充と、交付税措置を含む財政支援の継続・拡充
住家再建支援	2	みなし仮設住宅入居条件(4人以下世帯6万円まで)の弾力的運用の継続
	3	応急修理の期限や公費解体の期限の柔軟な対応の継続
	4	半壊以下(含一部損壊)への被害程度に合わせた支援
	5	社会福祉協議会の福祉資金の弾力的運用と貸し付け条件の緩和
	6	民地での地盤被害対策への特段の財政支援の要請
	7	宅地耐震化推進事業に合わせた、電柱の地中化や用水路の蓋かけなどの整備
	8	老朽危険家屋解体促進(災害ごみ処理の積極的、迅速な対応)
	生活再建支援	9
10		生活保護世帯の一時住まい提供終了後の住宅確保における特段の配慮
教育支援	11	被災した学校や社会教育施設等早期復旧
	12	熊本地震の記憶の伝承と、子どもたちへの防災教育の充実
	13	スクールカウンセラーによるカウンセリング継続・拡充
就学前児童・乳幼児支援	14	被災した認可外保育所施設への支援制度の創設
	15	復旧過程の公開と体験施設の設置
	16	再建の様子の観光客への公開、発信
	17	熊本城の文化財的価値を損なわないより強靱な構造での再建
	18	熊本城の瓦や石垣の裏、裏栗石への記名等による、市民参画の取組み
観光・経済振興対策	19	インターネット通販サイトの活用による本市製品の販路拡大
	20	展示会・商談会等への出展支援
	21	都市圏等をターゲットとした商談会の実施
	22	旅行企画会社への熊本城復興ツアー等の要請

震災対応編

要望大項目	項番	要望項目
文化・スポーツ振興対策	23	文化・スポーツ向上策に繋がる施設の再検討と整備
	24	選手やチームの練習・試合環境の早期整備
	25	新町・古町地区の住民意向を受け止めた支援
減災防災	26	熊本市広域防災センターの、県下唯一の体験型防災教育施設としての抜本的拡充
	27	分散備蓄品の更なる充実
	28	災害時支援物資提供のミスマッチ解消策の構築
	29	消防団、自主防災クラブ、機能別団員「防災サポーター」の拡充及び育成
	30	都市政策研究所での熊本地震の研究並びに検証
	31	南海トラフ地震の発生を想定した津波の正しい知識の周知や沿岸住民全員を対象とした避難訓練の実施
	32	上下水道施設の地震対策の「水道施設整備計画」「下水道総合地震対策計画」に基づく着実な推進及び一時避難所へのマンホールトイレの段階的整備

政策要望編

公明党熊本市議団

政策要望編

ターゲット	要望大項目	項番	要望事項
1. 女性が躍動するまち・くまもとづくり	① 女性の声が反映されるシステムの構築	1	すべての女性が躍動するまちを目指し、社会環境の整備、働き方の改革など、きめ細やかな支援拡充
		2	女性職員の管理職への登用目標を達成と、支援策の推進
	② 男女共同参画の推進と共にワークライフバランスの推進	3	男女共同参画基本計画の推進
		4	基本計画の骨格となるワーク・ライフ・バランスの普及・促進
	③ 働きながら子育てできる環境作り	5	待機児童の解消を評価します。その上で、いわゆる保留児童解消を目指す対策の強化
		6	新制度移行による保育料の激変緩和措置終了後も、過度な負担とならないための対策
	④ ひとり親家庭の状況調査及び支援事業の策定	7	熊本子ども輝き未来プランの推進の合わせ、ひとり親家庭の状況調査並びに支援事業の策定
	⑤ 子ども医療費の拡充など、子育て支援の拡充	8	子ども医療費の中学3年生までの拡充については、現行制度を基本としての拡充
2. 若者が活躍するまち・くまもとづくり	① 住宅確保で若者の定住促進	9	改めて、若者の定住促進対策の早期策定
		10	熊本地震で、若者が団地にいることの重要性も認識されたことを受け、若者の定住促進対策の一環としての「入居促進住宅」のさらなる推進
		11	定住促進対策としての「若者世帯専用住宅」の検討
	② UIJターンの更なる推進と、地元中小企業とのマッチング強化	12	UIJターンの更なる推進と、地元中小企業とのマッチング強化
	③ 若者の創業・起業支援推進	13	若者の創業・起業支援の推進
	④ 若者が地域で活躍できる環境整備	14	若者が地域で活躍できる環境整備
3. 温かで活力あるまち・くまもとづくり	① 教育環境の整備	15	全小学校普通教室への空調設備の早期設置
		16	学校施設のバリアフリーの推進と既存の小中学校へのエレベータ設置
		17	特別支援教育の、途中からの入園児の独自支援
		18	発達障がい児教育的支援として、市立幼稚園の「コア幼稚園」機能の強化
		19	スクールソーシャルワーカーの拡充
		20	教師塾「きらり」の充実と、塾生の資質の向上
		21	いじめの根絶に向けた取り組みの強化
		22	放課後児童育成クラブの高学年受入れ拡充と適切な施設環境整備

政策要望編

ターゲット	要望大項目	項番	要望事項	
3. 温かで活力あるまち・くまもとづくり (続き)	② 一人ひとりの状況に応じた生活自立支援の充実	23	生活保護世帯の就労支援のさらなる拡充	
		24	子ども食堂への支援策の策定	
		25	生活保護世帯の中学生への学習支援の参加率向上、中学1年までの対象拡充、被保護世帯以外の生活困窮世帯児までの対象拡大	
		26	ICTによるテレワークの推進及び企業・団体への積極的な支援	
		27	高齢者の緊急通報システムの要綱改定を評価します。その上で、新たな要綱に基づく丁寧な対応	
		28	総合相談窓口の充実と、各区展開の検討	
		29	ひきこもり専門相談窓口、「りんく」の体制強化	
		③ 障がい者等へのきめ細やかな支援強化	30	障害者差別解消法の周知徹底
			31	障がい者の就労意欲に十分に応えられる支援体制の整備
	32		障がい者の社会参画に大きく寄与している「おでかけパス券」に代わる制度の創設	
	33		平成さくら支援学校の開校後の小中学部の新設と、特別支援学級の小中学校の受入態勢整備	
	34		ジョブコーチの本格的な体制強化	
	35		重症心身障がい児受け入れ施設である医療型短期入所事業所(現在は市内2ヵ所)の拡充	
	④ 地域包括支援システムの構築	36	地域包括ケアシステムについては、身近なものとなるよう体制の拡充	
		⑤ 中小企業対策・特に小規模企業への支援強化	37	九州の食の展示商談会の継続した実施、さらには関西圏、首都圏、海外への販路拡大
	38		小規模企業等へ研究開発助成や専門家などの支援拡充	
	⑥ 農林水産業の振興と担い手の育成、経営安定の支援	39	若手・女性農業者、さらには新規就農者への支援強化	
		40	強い農林・水産業構築に向けた農地の集約、後継者育成、販路の拡大支援	
		41	家畜排せつ物処理施設の整備に伴う畜産農家の経営安定対策	
	⑦ 殺処分ゼロをめざし命の大切さがわかる愛護精神の環境整備	42	動物愛護精神の啓蒙・啓発強化	
		43	「増やさないのも愛」との精神から、地域ねこ対策の強化や民間との協働を図り、行政による猫の無料不妊施術の一部助成の拡大	
		44	職員へのドッグトレーナーによる定期的な研修の継続	
		45	犬の譲渡に際しては、大型犬等の習性や性格に応じた飼養上の指導を行い、譲渡後の定期的飼養管理の注意喚起	
	⑧ 医療環境の充実	46	CKD(慢性腎臓病)予防対策のさらなる推進	
		47	がん検診と特定検診の受診率向上	
		48	胃がんの原因の一つとされるピロリ菌検診の対策推進	

政策要望編

ターゲット	要望大項目	項番	要望事項
4. 歴史と文化の魅力あるまち・くまもとづくり	① コンパクトでスマートなまちづくりの推進	49	自転車利用環境整については、面的走行環境を整備するためピクセルの活用などを盛り込んだ計画等の策定
		50	MICE施設整備事業の着実な推進と、市民への丁寧な周知・説明
		51	新町・古町地域等熊本城周辺の観光対策としてのレンタサイクル事業の構築
	② 歴史・観光施設の連携で滞在型観光への転換	52	江津湖での納涼花火大会の開催
		53	フィルムコミッション事業のさらなる推進
		54	2018年大河ドラマ「西郷どん」の決定に合わせ、田原坂西南戦争資料館を、恒久平和発信施設とするとともに、国指定公園・田原坂の観光拠点化
		55	川尻の伝統工芸館を含め、伝統工芸の継承と振興
		56	熊本市博物館及びプラネタリウムの早期会館
		57	熊本城ホールのオープン、本市で開催されるスポーツの世界大会等を目途に、コードEXを活用した外国人観光客受入れ体制の構築
	③ 世界をターゲットとして交流人口の増加	58	新町・古町地区を含む中心市街地の回遊性向上策としての「しろめぐりん」の双方向運行やルート見直し、案内板の設置等、観光客誘導対策の強化
		59	世界に開かれた活力ある都市の実現を目指し、多文化共生への取り組み強化
		60	ハラル対応に向けた情報発信や受入れの更なる体制整備
		61	交流留学生の推進や、在熊外国人支援の強化
		62	東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、東アジアはもとより、タイ・マレーシア・シンガポール等、ASEAN諸国、さらに世界各国との連携を広げた多角的交流の推進
63	県外都市や世界各国との連携強化を図るための、本庁、東京事務所、県関西事務所、上海事務所の連携強化		
4. 歴史と文化の魅力あるまち・くまもとづくり	④ 日本一の熊本の地下水の保全対策の強化	64	中心市街地での、熊本の水を実感できる更なる施設整備
	5. 安心、安全なまち・くまもとづくり	① JR、私鉄、市電、バスの結節強化、延伸	65
66			新市民病院の完成を視野に入れた市電の延伸。また熊本地震後の県道高森線の一部4車線化では、県と益城町が検討を進めており、都市圏交通のあり方についての県及び町との情報の共有
67			鉄軌道との結節強化及び相互乗り入れによる利便性の向上
68			熊本駅東口駅前広場には、バスターミナルとしての機能を有する統一された乗降場を整備
69			熊本市の空の玄関口として、空港から市街地への高速軌道(次世代型LRT等)の導入を、鹿児島本線の高架化完成時期を目指しての導入

政策要望編

ターゲット	要望大項目	項番	要望事項
5. 安心、安全なまち・くまもとづくり (続き)	② 急速に進むインフラの老朽化対策の推進	70	民間住宅の耐震化診断ならびに耐震改修への補助制度の更なる拡充
		71	老朽化した各児童館の改修・改善
		72	公共施設総合管理計画の推進については、総量の削減ありきとにならないよう、徹底した議論と市民への説明
	④ 交通安全施策および地域防犯対策の推進	73	自転車マナー向上対策として、一般市民向けの啓発推進
		74	防犯カメラの設置の強化推進
	6. その他・くまもとづくり	① その他・くまもとづくり	75
76			消防力向上に向けた出張所機能等の強化
77			熊本市オンブズマンの独自調査のさらなる実施
78			町内自治会及び校区自治協議会等への連携強化、人材育成及び財政支援の強化
79			地域コミュニティセンター整備完了
80			コンビニ収納のさらなる促進
81			出張所等にある保健福祉空き施設のさらなる利活用
82			職員のメンタルヘルス問題への更なる取り組みの強化
83			債務者の個別の状況に応じた相談体制の強化